

良改の路道

載 轉 禁

號四第 卷五十第



表舗クリュチビ・トイナーフ

道路工事請負

アスファルト製造販賣

アスファルト乳剤製造販賣



東京麹町区・丸内

日本石油株式會社

道路部

道路鋪裝用

專賣特許瀝青乳劑「エマルビア」

製造販賣並鋪裝工事請負

瀝青乳劑「エマルビア」種類

透入用 瀝青乳劑「エマルビア」

不凍性 瀝青乳劑「エマルビア」

急硬性 瀝青乳劑「エマルビア」

濃厚 瀝青乳劑「エマルビア」

混合用 瀝青乳劑「エマルビア」

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地碌々館

電話 京橋一・三二五番

製造工場 横濱市鶴見區菅澤町一九五

電話 鶴見一・一三一一番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二、九

電話 京橋四二一・三〇三二・一四九番

道路の改良 第十五卷 第四号 目次 昭和八年四月一日發行



戸田橋の偉觀

卷頭言

慶應大學教授 戸田橋の偉觀

說

道路觀の發達

慶應大學教授 野村兼太郎(三)

研究

運輸系統の變遷と港灣を中心とする道路

内務技師 島野貞三(三)

道路と電信電話線との關係に就て(完)

水川比路志(一)

技術

瀝青乳剤の規格中特に指定すべき項目について 内務技師 西川榮三(二)

Cross Method と就て

内務技師 大野博(四)

混擬土及鐵筋混擬土鋪裝(二十)

埼玉縣技師 中末郁二(五)

座談會

道路維持座談會(二)

(六)

海外道路時事

(六)

イタ利國道の改良

内務省土木試驗所長 物部長穂(三)

米國に於ける道路交通

工學博士 廣瀬義一(四)

耐久力退化

獨逸アーヴィング接ゲルバード橋(五)

倒丁形擁壁の簡易設計法

獨逸エムス川道路橋(六)

漫録

三陸津浪の跡を訪ねて

谷口松雄(三元)

隨筆

議政の凝視

批評と紹介

土木費流用問題
昭和六年度失業救濟國道改良工事に於ける労働者使用状況
並工事費などに就て
山梨縣に於ける道路愛護作業

水川生(四)
遠藤貞一(四)
(五)

地方通信

北海道方面
東北方面
北越方面
東海方面
近畿方面
中國方面
九州方面

(180)

假面劇

國際假面劇
立體か平面か
遷羅の憲法
一日一家言
流し圓タク車内の鞆(一齣)

法令

農村振興及産業振興國庫補助道路改良工事竣工認定申請様式
關スル件通牒
昭和六年第八〇號土地收用審査裁決に對する訴
昭和五年第三四六號土地收用審査會裁決取消請求の訴

藤村藤治(一文)

雑報

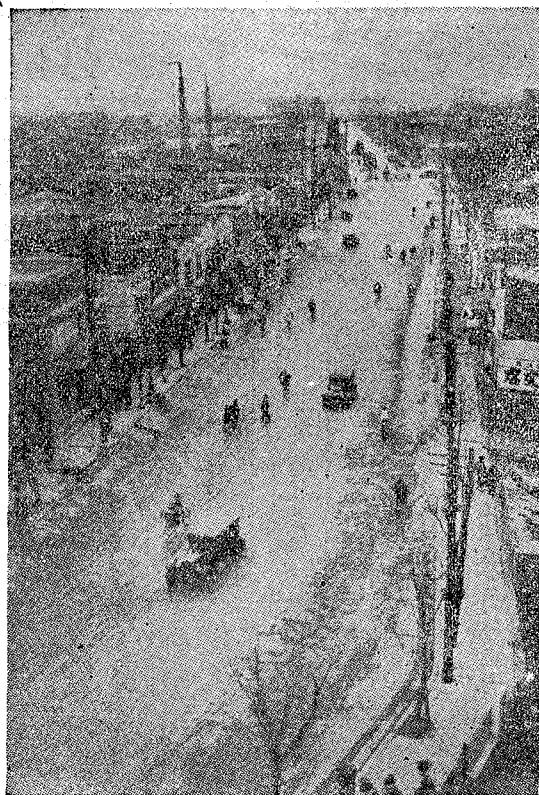
編叙
昭和八年度農村振興其の他土木事業各府縣割當決定
任辭令
編室内外
(一五)
(一六)
(一七)



PAVEMENT

浅野物産株式會社道路部

東京市麹町區丸ノ内一丁目六番地ノ一



新發賣品

瀝青乳剤「ウォーターフアルト」
アサノアスファルトプロツク

アスファルト鋪裝

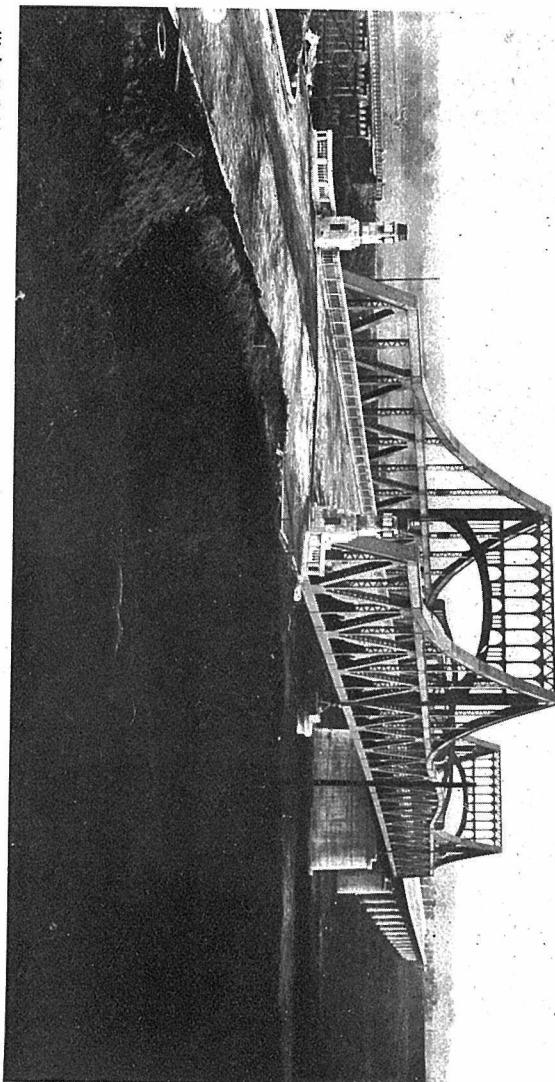
コンクリート鋪裝

A B C 式簡易鋪裝

瀝青乳剤「ウォーターフアルト」鋪裝

アサノアスファルトプロツク鋪裝

觀 偉 の 橋 田 戸



岸南川荒村田戸郡立足北縣玉埼一岸北川荒根蓮村志屋橋板市京東(在所)橋田戸(名橋)綫號九道國(名線端)連七十杆鋼鐵の二米一十二離距間心中承支に部敷水洪側京東に之米一十(員幅效有)米九十二百五(長梁端)深三米五徑短六米九徑長は脚需要主の橋樑型木版し架を連一橋樺型木版の米七十五百間徑全に部敷水低を十五臺土士混泥の基ニ該がるなるもせ段築を體驅脚橋に上其しと底基を簡井の米一十四岸五米七十三岸右さ基七十脚橋基打杭他其るらせ船と一第脚本とこき深其てしに延十六百量筋鐵米方立百五長の貯十七上以貯五十五長て本萬九航松尺長の貯十七上以貯五十五長て本萬一十鉄場現延八十九百八材鋼筋鋼にてしに延百三筋鐵米立千二

道路工事

KYOTO/OHTOMON

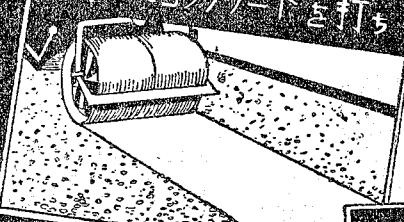
ハ

新
道

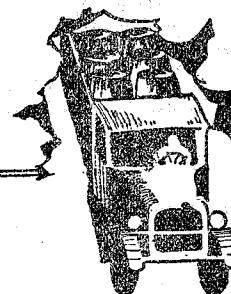
駱
野
道
路
シ
ハ
リ



2 間にコンクリートを打つ



3 間にトラック 新道を走る



浅野セメント株式会社

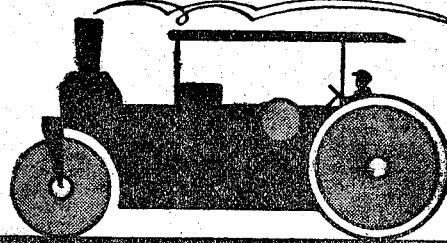


天
空
の
道

ア
ン
ク
リ

と
か
く

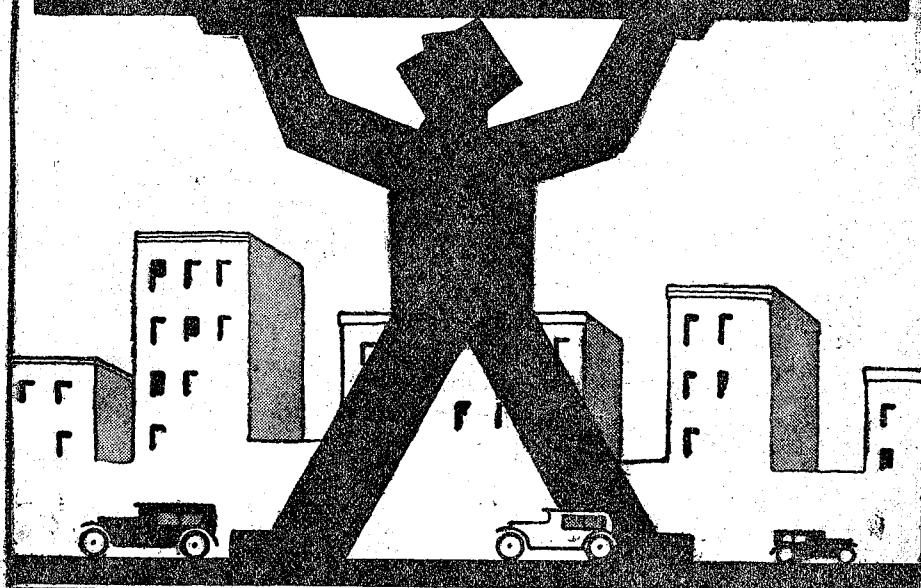
づ
き
も



道路鋪装請負

株式会社

高野組



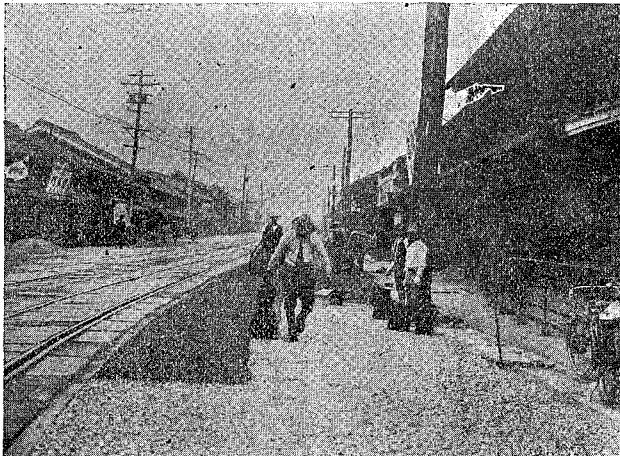
本社 東京市麹町區丸ノ内二ノ二丸ノ内ビルディング六階

電話 丸ノ内(23)一九四八番

裝鋪易簡

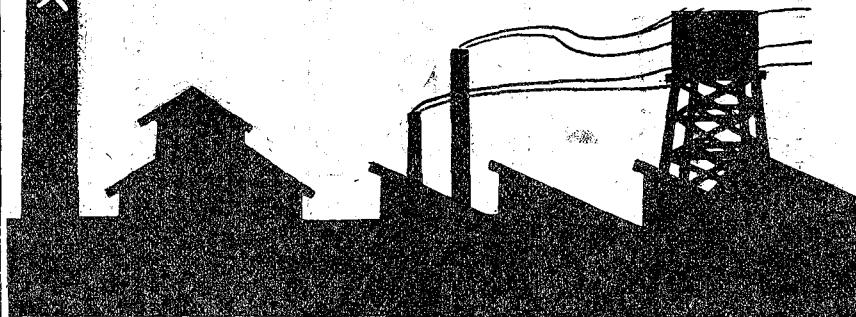
明星の界剤乳

EMULAS



岐阜市本町府縣道三十五號線鋪裝
工事實況

エムラス



エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四

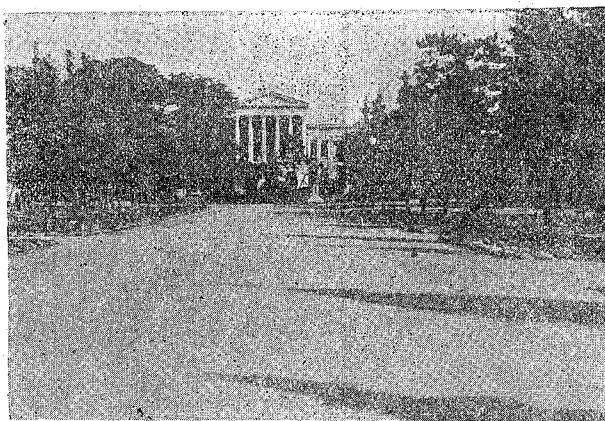
電話墨田(74)二六三七番

◎アスカル

特許



◎瀝青乳剤



アスカル株式会社 製造販賣部

◎今や浸透撒布式の時代は去れり

簡易混合法施工としての特許アスカルは全世界に
一大「センセイション」を巻き起しつゝあり

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

日本アスカル工業合資會社

電話青山(36)四九七三・八一四八番

各種鋪裝工事請負

營業科 目
鋪裝材
アスカル
瀝青乳剤
製造販賣

一般土木建築工事請負

路政の指針

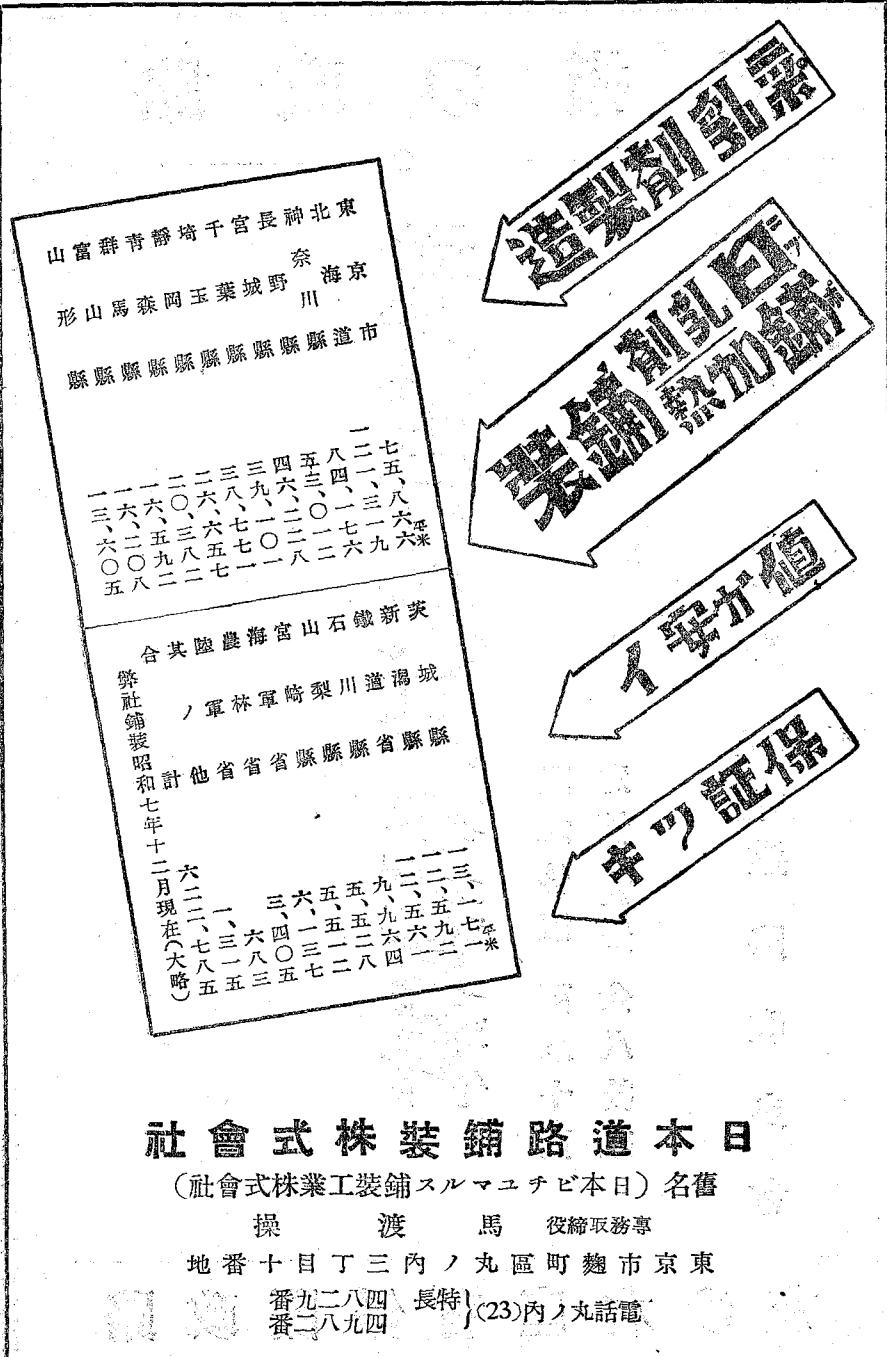
道路行政研究資料

四六倍版 百八十頁

定價 實費 金八拾錢

發行所
社團道路改良會

路政關係者右座の友



昭和八年

道路の改良

四月一日

第五十卷
第四號



言頭卷

兎角の非難はあつたものゝ第六十四帝國議會は終つた、之を動機として例の政變が傳へられてゐる、一部論者は現内閣の持続せむことを強調し、一部論者は現内閣に時局處理の能力がないと言つてゐる、唯だ奇異に感ずるのは何れの論者も政權を憲政の常道に引き戻さむことを強調しないことである。そこに現在の既成政黨が憲政の理想とする所に反して存在することを物語つてゐる、尙ほ之に次で軍部の活躍が裏に潜んでゐることを表はしてゐる、併し實際時局重大なとき何人が内閣を組織するやは、國民の關心事である。蓋し外、國交のことと想ひ、内、思想混亂時代なるに想到するとき何人か出てて、天下を指導するの緊切なるものが現れるからである。然れども之を現代に求むることは或は困難であらう、既成政黨が腐敗墮落の極に達してゐても、兎も角國民が選舉した代議士に依つて其の幹部が構成され黨員が團結してゐる、是等の政黨を否認することは自ら憲政を否認することゝ爲る、又ファッショニズム的思想を排斥することは出來ても現時の組閣に方つては所謂軍部に聽從しなければならぬからである。然らば如何にして吾が要求を實現せしむるべきか曰く新政黨を組織せしめて舊政黨を解體せしめ新政黨に政權を把握せしむることである。

想ふに我國に於ては幸にも國家を憂ぶるの士が渺くない、殊に腐敗墮落せる既成政黨の中に於ても慨世の志士を見出し得るのである、詰り報國の志士を糾合すること左程の難事ではない、是等の者が曾て既成政黨が教へて呉れた舊式の型態組織の缺陷を打破して、國民生活の要求に即した政治の實行を策したならば、恐らくは國民の支持を得るであらう、斯くなれば所謂軍部の一派も之に追随して茲に昭和の新政治を見るに至るであらう、是等に組閣せしむることに依つて行き詰れる帝國は誕生するであらう、世は往々にして社會の改造を強調するのであるが、國民生活の基礎と爲るべき政治を改革せずして、他に社會の改造を求める如きは縁木求魚の類である、現時の政治は此新政黨に依つてのみ改造さるゝことを強調する。